

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 23 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H01760

研究課題名(和文) 日本における「生き物供養」「何でも供養」の連環的研究基盤の構築

研究課題名(英文) In order to build a research infrastructure that linked to for the study of "living creatures memorial service", "anything memorial service" in Japan

研究代表者

相田 満 (AIDA, MITSURU)

国文学研究資料館・研究部・准教授

研究者番号：00249921

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 32,100,000円

研究成果の概要(和文)：主題間の関係性を構造化するDB「生き物供養碑topic map」を公開、共有を図った(蓄積5000件、公開4000件)。検索・分析が可能な主題は対象物の生息域(場所)と、碑の建立時期、内容、参考情報(文献・URL)で、各碑塔に付したGIS情報を基に当該地を示す地図が表示されるようにした。さらに、各対象の関係性を統合する概念に『古事類苑』の分類体系を適用、「類苑」全30部中17部とその下位概念に各供養事物を当てはめることにも成功し、殆どの供養碑をこのオントロジにより統御可能とし、日中台における関係性も見通せる特色ある研究成果を生み出すことができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は鯨を始めとする生き物への眼差しや、モノの命を惜しむ営みを膨大な数の碑塔類に建立して、供養する営みが、世界的にも早い段階から継続しており、今なお続いていることを実証し、意義付けるものとなった。折しも、SDGSや動物福祉の重要性が社会的認識となりつつある動向は、本研究と期を一にしたものといえる。しかも、籤落葉やモノ供養などの営みは、日本が古来行われてきたことで、このことは、世界のみならず日本人も広く周知されるといえる。特に本研究が明らかにした日本の生き物と諸物供養の碑塔の歴史と連関性や、台湾・中国、ベルギー、パラグアイ等にも残された足跡等、新たに明確になったことは多い。

研究成果の概要(英文)：The DB "Creature memorial monument topic map" that structures the relationships between the themes was released and shared.(5000 accumulated, 4000 published). The subjects that can be searched and analyzed are the habitat (location) of the object, the time when the monument was erected, the contents, and reference information (literature / URL), and a map showing the site based on the GIS information attached to each monument. In addition, we applied the classification system of "Koji Ruien" to the concept of integrating the relationships of each object, and succeeded in applying each offering to 17 out of 30 copies of "Koji Ruien" and its subordinate concepts. As a result, most of the memorial monuments can be controlled using this ontology, and it has been possible to produce distinctive research results that can see the relationship between Japan, China and Taiwan.

研究分野：人文情報学、和漢比較文学

キーワード：供養碑 古事類苑 オントロジ GIS 地域文化史(日本) 中国・台湾 供養塔 トピックマップ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

実験や摂食等で命を奪った生き物への報謝や謝罪のための供養碑を建てる事が、日本特有の営みではないかと言われ始めたのは、海外出張の多い農獣水産医学に携わる研究者からであった。「ヒトと動物の関係学会」「動物観研究会」等を擁する農学・生物系学会等で報告が行われ始め、近年は例えば依田賢太郎『どうぶつのお墓をなぜつくるか ペット埋葬の源流・動物塚』(社会評論社,2007)や、田口理恵『魚のとむらい 供養碑から読み解く人と魚のものがたり』(東海大学出版会,2012)などの他、学会での個別報告や、旅行経験を綴る HP などで事例はあるが、まとまった研究・著書は両氏以外になかった。

報告者は先述の田口理恵氏(2014年10月逝去)を分担者、依田賢太郎氏を協力者に仰ぎ、平 22-26 年度人間文化研究機構連携研究で田口氏の調査成果に基づいて、それをさらに発展させた供養碑データベースの構築と分析を行う研究を進めた。

### 2. 研究の目的

データベースはトピックマップ(Topic Maps)を用いて GIS と高度が記録された碑の写真 1056 件からさらに「何でも供養」ともいふべき、非生物供養碑も蓄積した。その結果、物語類などの文学が伝える世界とは根底的に異なる実態があることが判明し、実見による研究調査と、伝承を含む文献情報とを総合的に分析・勘案する事の大切さを確認できた。そこで、本研究においては、過去現在問わず供養の碑塔・行事・文献類からの情報と実見データを広く収集し、データベースの充実と両供養の分析を通して、本研究を新たなパラダイムによる文学研究に昇華させることに取り組むものである。

### 3. 研究の方法

研究は以下の ~ の大項目 3 点を軸に進められた。以下に、成果の詳細を補足する。

#### (1) 資料収集：新規供養碑の発見と既存供養碑の再検討・文献調査

分担・協力者に GIS・高度情報が記録可能なカメラを配布、それぞれデータ収集と解説・論文執筆にあたる。また、本経費でなくては調査が困難な所、単独調査では場所の特定や単独では動物被害が懸念される所、祭儀催行時期の現地巡検等では、分担・協力者、案内協力者と共同で調査を行って認識の共有をはかり、期間中に全 5,000 件程のデータベースを構築、草木(日本)、文字(台湾・日本)、蚕(日本)、獣畜魂碑(台湾)類は悉皆的調査結果を示すことが出来た。また、研究期間中に新たに生まれた供養碑や発見された供養碑のほか、協力者の助力により、日本人には非公開の中国における供養碑の採集も得る事が出来た。

#### (2) データベースナビゲーションの構築

データベースアプリケーションに Topic Map を採用し、主題概念とその関係性が明示できるデータベースを目指した。多様な供養対象物を整理するために、その語彙を『和漢三才図会』『太平御覧』『淵鑑類函』等の大規模類書の見出し語彙を精選して作られた『古事類苑』のインデックスに統合した。これは研究者にすでに和漢オントロジなどが持つ古典学の百科事典情報の蓄積があり、『古事類苑』の見出し語句と供養対象物の語彙とは親和性が高く、予備調査で多くの語彙や概念を『古事類苑』に紐付けて集約することが可能であることを予想したので、各供養碑を『古事類苑』の概念体系に提要したところ、大概念 30 部中 17 部の編目に一致を見たほか、下位概念は約 200 種類に統合できた。これにより、さまざまな供養の碑塔にアクセスするために、以下の手順による検索の他、SQL 文を使用して細かな検索を行うための、見本文を搭載した。

A 地域(国・都道府県市町別・地図上の該当碑塔のアイコンのクリック)

B 供養対象の種類(陸域/水域、『古事類苑』掲載部類から、碑塔表示、任意の文字列)

C 建立年

#### (3) 研究成果の公開

供養の位置を記録し、その GIS 情報を使用して地図に位置を示すことで、種類別や地域別の集密度が一覧できるようにするほか、建碑年別のデータを一覧できることで、通史的な分析を可能にした。また、プロテクトにより地図情報の表示に支障を来していた Google Map の利用から、国土地理院の地図と OSM(Open Street Map)の利用により支障ない表示が行えるデータベースに切り替えた。また、既存の参考文献情報や『古事類苑』の分類体系(オントロジ)を利用したナビゲーションを取り込んだ統合情報データベースを構築し、古典世界との接合を果たす窓口とした。

### 4. 研究成果

本研究課題の成果を主に台湾・中国において開催された国際学会で行った。また、中国国籍の研究メンバー(分担・協力者)は、本主題に特段の関心を持ち、発表学会の紹介や、特に台湾国内における供養碑データの提供ほか、奇妙な供養碑塔や供養の採録に多大な貢献を得た。

また、和漢比較文学学会の特別海外例会や例会では研究メンバーに限らず、学会員が本研究に関わる内容の発表を行ってくれて、本研究をより深掘りすることに貢献してくれた。

なお、研究終了後のことではあるが、海外マスコミ(米)からの本研究内容についての問

合せも届き始めており、今後も本研究成果の基礎となったデータベース「生き物供養碑トピ  
ックマップ」を継続的に公開する取り組みも重ねていきたい。

なお、本研究内容に関わる研究成果は、一覧表の通りである。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計35件（うち査読付論文 18件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 相田満	4. 巻 218
2. 論文標題 「生き物供養」と「何でも供養」の日中台：その共通性と差異の特徴をめぐって	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 洋研究（大東文化大学東洋研究所）	6. 最初と最後の頁 17 - 44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 2021
2. 論文標題 「生き物供養」と「何でも供養」 日本における系譜	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 2021年中国語文化大學國際暨外語學院日本語文學系 國際學術研討會 跨領域學術研究：時間與空間的匯流 論文集	6. 最初と最後の頁 114 - 124
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 214
2. 論文標題 楊貴妃日本に渡る 遺跡と遺物と伝承と	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋研究（大東文化大学）	6. 最初と最後の頁 49 - 74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 2019
2. 論文標題 モノの供養と生き物供養の連環性を考える 日本の供養文化と比較して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年中国語文化大學日本語學科國際シンポジウム 日本の言語・文化・思想・宗教・社会・歴史に関する研究と教育論文集	6. 最初と最後の頁 135 - 140
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田明弘	4. 巻 31
2. 論文標題 『太平伝記』 鬼部説話の構成 鬼二十六～鬼三十	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本女子大学紀要. 人間社会学部	6. 最初と最後の頁 103 - 118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田明弘	4. 巻 44
2. 論文標題 『冥報記』 『日本霊異記』 における冥界説話の意義	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 仏教文学 (仏教文学会)	6. 最初と最後の頁 84 - 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安保博史	4. 巻 19
2. 論文標題 東アジアのネットワークと日本の近世 (特集 東アジアのネットワークと日本の近世)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東アジア比較文化研究	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安保博史	4. 巻 20
2. 論文標題 東アジアと『南総里見八犬伝』 : 「胸に敷ある胡の国に、生れぬ身」考 (特集 創刊二〇周年記念号)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東アジア比較文化研究	6. 最初と最後の頁 69 - 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藏中しのぶ	4. 巻 220
2. 論文標題 『南総里見八犬伝』の「倚福反転」と『正法眼蔵』：「無瞳子の画虎」譚と一休宗純・「諸悪莫作、衆善奉行」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東洋研究（大東文化大学東洋研究所）	6. 最初と最後の頁 1 - 30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白雲飛	4. 巻 38
2. 論文標題 関于 日本的動植物物和非生物的追福 祭祀現象	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 人文学論集	6. 最初と最後の頁 263 - 275
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24729/00016789	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 永由, 徳夫	4. 巻 70
2. 論文標題 細井広沢『観鷺百譚』解題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 群馬大学共同教育学部紀要. 人文・社会科学編	6. 最初と最後の頁 27 - 37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永由, 徳夫	4. 巻 69
2. 論文標題 「葦手下絵和漢朗詠集」の研究（基礎資料編2）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 群馬大学教育学部紀要. 人文・社会科学編	6. 最初と最後の頁 25 - 38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 関いずみ	4. 巻 4
2. 論文標題 農山漁村の女性たちの緩やかなネットワークづくり：うみ・ひと・くらしネットワークの挑戦	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社団法人日本水産資源保護協会季報（日本水産資源保護協会）	6. 最初と最後の頁 4-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 関いずみ	4. 巻 56-7
2. 論文標題 「うみ・ひと・くらしフォーラム」のリレートーク(第2回)漁業・漁村に吹く新しい風	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊漁業と漁協	6. 最初と最後の頁 20 - 23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 2018-1
2. 論文標題 「生き物供養」と「何でも供養」の関連性を求めて 日本と台湾の比較から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会論文集「人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん)2018)」	6. 最初と最後の頁 27 - 32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 2018
2. 論文標題 台湾の『生き物供養』と「何でも供養」 日本との比較を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 邁向永續發展社会之日語教育与日本文化研究試探 2018年中国文化大学外国語学院日本語文学系国際学術検討会論文集	6. 最初と最後の頁 113 - 123
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 12
2. 論文標題 日本における橋供養の意義と系譜	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 和漢比較文学会第12回海外特別例会予稿集	6. 最初と最後の頁 95 - 101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 13
2. 論文標題 日本に残るカヤのおもかげ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 説話	6. 最初と最後の頁 91-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 2018
2. 論文標題 楊貴妃日本に渡る	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018和漢比較文学検討会論文集	6. 最初と最後の頁 37-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白雲飛	4. 巻 2018
2. 論文標題 日中における「蚕」の祭祀と供養について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018和漢比較文学検討会論文集	6. 最初と最後の頁 159-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 堀誠	4. 巻 2018
2. 論文標題 「蝗」をめぐる日中比較文化的考察 「虫供養」や「駆蝗」の観点から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018和漢比較文学検討会論文集	6. 最初と最後の頁 167-175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堀誠	4. 巻 12
2. 論文標題 日中比較文学の視座	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 和漢比較文学会第12回海外特別例会予稿集	6. 最初と最後の頁 15 - 20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hara Shoichiro, Sekino Tatsuki	4. 巻 2018
2. 論文標題 Digital Gazetteer as a Knowledgebase for Open Data Science (2nd Report)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC) in IEEE Explore	6. 最初と最後の頁 1 - 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2018.8579466	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 原正一郎, 山田太造, 石川正敏, 白井圭佑, 亀田堯宙, 森信介	4. 巻 2018-1
2. 論文標題 Webビッグデータからの地域研究情報抽出の試み	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会論文集「人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん)2018)」	6. 最初と最後の頁 365-372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳捷	4. 巻 31
2. 論文標題 和刻本の変種—中国に伝わった日本の版木とその摺本について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文化交流研究（東京大学文学部次世代人文学開発センター）	6. 最初と最後の頁 27 - 36
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満・岩崎清実	4. 巻 2018
2. 論文標題 植物の供養と奇跡 日本人の供養観・慰霊観：生き物供養・何でも供養の観点から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 総合研究大学院大学文化科学研究科学術フォーラム予稿集	6. 最初と最後の頁 PP19-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堀誠	4. 巻 70
2. 論文標題 『平妖伝』四十回本における妖狐の形象 - 「妖術」と聞香	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 学術研究：人文科学・社会科学編（早稲田大学教育・総合科学術院）	6. 最初と最後の頁 21 - 32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堀誠	4. 巻 2017
2. 論文標題 日中鶏鳴故事考 日中比較考察の一視座	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 和漢比較文学会第10回特別例会和漢比較シンポジウム2017	6. 最初と最後の頁 PP73 - 78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白雲飛	4. 巻 2017
2. 論文標題 『今昔物語集』における供養観をめぐって 『今昔』天竺部・震旦部と中国典籍との比較を中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 和漢比較文学会第10回特別例会和漢比較シンポジウム2017	6. 最初と最後の頁 PP25 - 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 Vool.32. .7
2. 論文標題 『古事類苑』の共有と近代古典学の解析のための基礎的研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 情報知識学会誌	6. 最初と最後の頁 208 - 313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 203
2. 論文標題 橋の記憶 幻ではなかった慶長五年竣工の多摩六郷橋	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋研究	6. 最初と最後の頁 pp35-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 2016
2. 論文標題 日本における「生き物供養」「何でも供養」の連環的研究基盤の構築	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 情報処理学会論文集「人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん)」	6. 最初と最後の頁 pp177-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相田満	4. 巻 42
2. 論文標題 文字供養に見る日本人の供養意識と彼我の温度差 : 文字を惜しむ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 書論	6. 最初と最後の頁 pp203-216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堀誠	4. 巻 2
2. 論文標題 西安閨見抄 : 散策の空間	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 アジア・文化・歴史	6. 最初と最後の頁 pp20-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原正一郎	4. 巻 2016-CH-111
2. 論文標題 人文社会科学データベースの構築に関する考察	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ	6. 最初と最後の頁 pp1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計26件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 7件)

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 モノの供養と生き物供養の連環性を考える 日本の供養文化と比較して
3. 学会等名 中国文化大学日本語文学科国際シンポジウム 日本の言語・文化・思想・宗教・社会・歴史に関する研究と教育 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 相田満（通訳：黄昱）
2. 発表標題 論中日「生物供養」、「萬物供養」の共通性、差異與特點
3. 学会等名 2019 第六屆敘事文學與文化國際學術研討會議程（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 「鳥」と「烏」再考 『蒙求』 「朱博烏集」故事と幼学論の導論として
3. 学会等名 和漢比較文学会東部例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 日本における橋供養の意義と系譜
3. 学会等名 和漢比較文学会第12回海外特別例会（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 日本における生き物供養と何でも供養の文化的差異 中国由来の供養と園変容
3. 学会等名 総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻公開講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 「生き物供養」と「何でも供養」の連関性を求めて 日本と台湾の比較から
3. 学会等名 情報処理学会「人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん)2018)」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 台湾の『生き物供養』と「何でも供養」 日本との比較を中心に
3. 学会等名 邁向永續發展社会之日語教育与日本文化研究試探 2018年中国文化大学外国語文学院日本語文学系国際學術検討会(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 楊貴妃日本に渡る
3. 学会等名 和漢比較文学会第11回特別例会和漢比較シンポジウム2018(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀誠
2. 発表標題 日中比較文学の視座
3. 学会等名 和漢比較文学会第12回海外特別例会予稿集(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 相田満・岩崎清実
2. 発表標題 植物の供養と奇跡 日本人の供養観・慰霊観：生き物供養・何でも供養の観点から
3. 学会等名 総合研究大学院大学文化科学研究科学術フォーラム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 堀誠
2. 発表標題 日中鶏鳴故事考 日中比較考察の一視座
3. 学会等名 和漢比較文学会第10回特別例会和漢比較シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 白雲飛
2. 発表標題 長谷寺の馬鳴菩薩立体曼陀羅図について
3. 学会等名 第21回天文文化研究会（大阪工業大学梅田 キャンパス、2021年7月10日）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 白雲飛
2. 発表標題 蚕神としての馬鴉菩薩の確立
3. 学会等名 形の文化会2021年度大会、形の文化会第74回フォーラム
4. 発表年 2021年～2022年

1. 発表者名 白雲飛
2. 発表標題 『今昔物語集』における供養観をめぐって 『今昔』天竺部・震旦部と中国典籍との比較を中心に
3. 学会等名 和漢比較文学会第10回特別例会和漢比較シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 「生き物供養」と「何でも供養」 日本における系譜
3. 学会等名 2021年中國文化大學國際暨外語學院日本語文學系 國際學術研討會 跨領域學術研究：時間與空間的匯流 論文集（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 文字供養に見る日本人の供養意識と日中の温度差・改 日本のお惜字文化について -
3. 学会等名 陝西師範大学特別講演（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 「モノ」の供養と「生き物」供養の連関性を考える 日本の供養文化と比較して
3. 学会等名 ないじえるワークショップ（国文学研究資料館2022年5月14日）
4. 発表年 2022年



1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 幻でなかった慶長五年架橋の多摩六郷大橋 供養願文草稿と道中絵図の紹介を中心に
3. 学会等名 平成28年度無窮会東洋文化談話会研究例会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 日本における「生き物供養」「何でも供養」の連環的研究基盤の構築
3. 学会等名 情報処理学会「人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん)2016)」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 文字を供養する 惜字の文化と日・中・台の温度差
3. 学会等名 ないじえるワークショップ(国文学研究資料館2021年5月21日)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 『古事類苑』の共有と近代古典学の解析のための基礎的研
3. 学会等名 情報知識学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 平安前期のレジリエンス 六国史時代と現代を見比べて (シンポジウム「「災いから考える文化のレジリエンス」」)
3. 学会等名 総研大文化フォーラム2020 (ZOOM) 2020年12月5日
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 相田満
2. 発表標題 プロジェクト紹介 日本における「生き物供養」「何でも供養」の連環的研究基盤の構築
3. 学会等名 和漢比較文学会東部例会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三田明弘
2. 発表標題 動物供養の観点からの『冥報記』説話の分析
3. 学会等名 和漢比較文学会東部例会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 蔵中しのぶ
2. 発表標題 魚籃観音追考
3. 学会等名 和漢比較文学会東部例会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 人文社会科学データベースの構築に関する考察
3. 学会等名 人文科学とコンピュータ研究会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 山田奨治, 滋賀大学教育学部附属中学校	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 188
3. 書名 びわ湖のほとりで35年続くすごい授業 滋賀大附属中学校が実践してきた主体的・対話的で深い学び	

1. 著者名 堀誠	4. 発行年 2021年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 240
3. 書名 日中比較文学の小径 : 今昔逍遙	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>公開版にID・パスワードによる制限はないが、他は ID:aida01/PWD:aida01! により閲覧が可能となっている。 また、topic map4以降では、表示地図に国土地理院の地図とOSM(Open Street Map)を使用。日本国内は国土地理院により、それ以外の各国については、OSMを使用 することが推奨される。</p> <p>生き物供養碑 topic map6 http://tmap1.topicmaps-space.jp/kuyo6/ 生き物供養碑 topic map5 http://tmap1.topicmaps-space.jp/kuyo5/ 生き物供養碑topicmap4 http://tmap1.topicmaps-space.jp/kuyo4/ 以下はGoogleMapを使用しているため、地図がグレーの表示制限が掛かっている。 生き物供養碑topic3 http://tmap1.topicmaps-space.jp/kuyo3/ 生き物供養碑topic2 http://tmap1.topicmaps-space.jp/kuyo2/ 生き物供養碑topicmap [公開版] http://tmap1.topicmaps-space.jp/kuyo/</p>
--

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	三田 明弘  (MITTA Akihiro)  (00277865)	日本女子大学・人間社会学部・教授    (32670)	
研究分担者	堀 誠  (HORI Makoto)  (20157051)	早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授    (32689)	
研究分担者	山田 奨治  (YAMADA Shouji)  (20248751)	国際日本文化研究センター・研究部・教授    (64302)	
研究分担者	関 いずみ  (SEKI Izumi)  (20554413)	東海大学・海洋学部・教授    (32644)	
研究分担者	永由 徳夫  (NAGATA Norio)  (30557434)	群馬大学・教育学部・教授    (12301)	
研究分担者	藏中 しのぶ  (KURANAKA Sinobu)  (40215041)	大東文化大学・外国語学部・教授    (32636)	
研究分担者	陳 捷  (CIN Shou)  (40318580)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・教授    (12601)	
研究分担者	白 雲飛  (HAKU Unhi)  (40770003)	大阪府立大学・人間社会システム科学研究科・客員研究員    (24403)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	原 正一郎 (HARA Shouichirou) (50218616)	京都大学・東南アジア地域研究研究所・教授  (14301)	
研究分担者	安保 博史 (ABOU Hiroshi) (60271483)	群馬県立女子大学・文学部・教授  (22302)	
研究分担者	梅川 通久 (UMEKAWA Michihisa) (80372548)	文部科学省科学技術・学術政策研究所・第1調査研究グループ・上席研究官  (82624)	
研究分担者	石井 行雄 (ISHII Yukio) (60241402)	北海道教育大学・教育学部・准教授  (10102)	削除：令和3年3月31日
研究分担者	谷本 玲大 (TANIMOTO Sachihiro) (10445728)	公益財団法人 研医会・図書研究部・研究員（移行）  (72659)	削除：平成29年11月22日

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	石井 行雄 (ISHII Yukio)	文化科学研究科・総合研究大学院大学・学生(移行)  (12702)	令和3年4月1日より総合研究大学院大学に学生として入学。

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関